

これからも、
子育て世代が安心して、楽しく子育てができるよう、
また、千歳市が子育て世代から選ばれ、
人口10万人を目指して発展していけるよう、
真に必要とされる子育て支援の実現に向けて、
取り組んでいきます。

千歳市子育てママ応援会議委員一同



中間報告書

平成30年9月12日

千歳市子育てママ応援会議

委員名簿

氏名	所属等
くろずみ ちえ 黒住 千絵	株式会社ダイナックス (元千歳市子ども・子育て会議委員)
でんしょう あやこ 伝庄 彩子	子育てサークル「ニコニコザウルス」代表 (千歳市子ども・子育て会議委員)
たかぎし てるみ 高岸 照美	認定こども園つくし保育園 (千歳市私立保育所連合会推薦)
ふくち まな 福地 真奈	千歳科学技術大学理工学部 (千歳科学技術大学推薦)
さいとう そう 斉藤 創	美容室「HAIR POINT すみれ本店」店長
おやま いくこ 小山 育子 (副担当：藤本 由美子)	陸上自衛隊東千歳駐屯地
かわうち るみ 河内 留美	陸上自衛隊北千歳駐屯地
みやぎ ゆうこ 宮城 優子	航空自衛隊千歳基地
わたべ かおり 渡部 佳織	千歳公共職業安定所
かみまさより まさひろ 上政頼 昌弘	「千歳市パパの会」副代表 (千歳市観光スポーツ部観光企画課)
あらかわ あや 荒川 綾	ちとせイクボス推進本部事務局 (千歳市総務部主幹(働き方改革推進担当)付)
【座長】うへの みはる 上野 美晴	千歳市こども福祉部長

1 組織の概要

【趣旨】

今後の本市における社会・経済情勢の変化に的確に対応し、“子育てするなら、千歳市”の施策の促進を図るため、様々な社会環境や既存制度を女性の視点で官民一体となって検討する組織として「千歳市子育てママ応援会議」を立ち上げました。検討した内容で可能なものは速やかに実行するとともに、今後の事業化に向けた検討や、平成32年度からの次期「千歳市子ども・子育て支援事業計画」への施策の反映を目指します。

【期間】平成29年10月～平成32年3月（約2年半）

【メンバー構成】子育て中の女性・男性、女性自衛官、保育士、大学生、公務員 等
12名

2 会議の開催概要及び主な意見

会議においては、各委員が実際に千歳市内や他の自治体で子育てをしてきた経験から、市の子育て支援について優れている点・不足している点が挙げられるなど、毎回、率直な意見が交わされています。

<p>第1回会議（H29.10.30）</p> <p><テーマ> 千歳市の子育て支援の状況について ～「子育てするなら、千歳市」の取組～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちとせ子育て特典カードが対象の全世帯に行き渡るよう、カードの配布方法を見直した方が良い ・医療費の助成を受けられる期間がもっと長くなれば、医療機関にかかりやすくなる
<p>第2回会議（H29.11.29）</p> <p><テーマ> 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 男性の育児参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てコンシェルジュや子育てガイドブックの存在を知らない人もいる ・市役所の窓口にも子育てコンシェルジュがいたら便利 ・ママサポートやスキルアップ講座を全員が受けるような制度になれば利用しやすい ・子育て支援センターに足を運ぶきっかけづくりが進むと良い ・スマートフォンアプリや子育てガイドブックの電子版で、気軽に情報を見たい ・スマートフォンアプリで各事業の具体的な利用方法などがわかると良い ・年度途中で転入しても希望する保育所等に入れるように、保育定員を拡大してもらいたい ・4年生以降も利用しやすいよう学童クラブの定員拡大を ・育児への参画の仕方は家庭の状況によって異なるので、支援する側は配慮する必要がある ・仕事も子育ても手を抜きたくない。第2子以降をもつには、事業者の意識改革が必要

第3回会議 (H30.1.30)

<テーマ> 乳幼児期の保育
保育士の確保

- ・保育士資格をもちながら保育士としての就労を希望しない方が多くいる
- ・短時間勤務のベテラン先生を採用するよう間口を広げたら、円滑に回ると思う
- ・潜在保育士は、給与の引上げ、業務量の軽減、休みの取りやすさの改善などを望んでいる
- ・保育士等人材バンクの登録をちとせっこセンターなどでもできたら、気軽に登録できそう
- ・保育料の経済的負担が重い

第4回会議 (H30.3.28)

<テーマ> 子どもの居場所づくり
行政以外の地域や企業に望むこと

- ・こども食堂をより気軽に利用できるようなプロモーションが図られると良い
- ・こども食堂は、料金が安く、食育にもなるので、自分の子どもにも勧めたい
- ・ちとせ子育て特典カードは、継続して利用できるような特典があると利用者が増えると思う
- ・保育所や認定こども園と、児童館・学童クラブが連携して子どもを見守っていけたら、子どもも親も安心
- ・認定こども園と児童館が併設した施設ができるのは良いことだと思う
- ・中学生には、友達同士でリラックスできる場所や時間が必要
- ・第2子以降をもつには、父親の協力が得られるかが大事
- ・中高生のうちに赤ちゃんに触れ合う機会があると、特に男性にとっては良い意識づけになる
- ・企業の中でワーク・ライフ・バランスや子育ての講座ができれば男性も参加しやすい
- ・イクボスの推進には、組織のトップから下へ浸透させていくことが大切
- ・男性の育児休業取得を企業のイメージアップ策に留めず、本当に休める環境づくりを
- ・男性が育休をとれるよう、企業等の意識改革を市からも後押ししてもらいたい
- ・第2子以降の出産に手当がつくなど、金銭的なインセンティブがあると効果的

第5回会議 (H30.7.12)

<テーマ> 中間報告(案)について

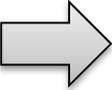
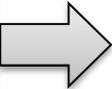
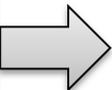
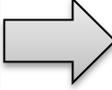
第6回会議 (H30.8.28)

<テーマ> 中間報告について
「第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査について

3 施策への反映

会議で挙げられた意見を受け、13項目が市の施策として実施されました。また、5項目を今後に向けた提言とし、その他の事項については次期計画の策定に向けた提言とします。

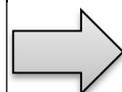
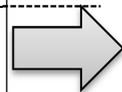
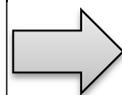
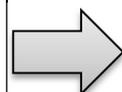
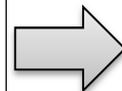
(1) 情報発信や事業の普及促進に関すること

区分	主な意見 P1～2の再掲	
子育て支援事業の利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・ママサポートやスキルアップ講座を全員が受けるような制度になれば利用しやすい ・子育て支援センターに足を運ぶきっかけづくりが進むと良い 	
子育てコンシェルジュについて	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の窓口にも子育てコンシェルジュがいたら便利 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てコンシェルジュや子育てガイドブックの存在を知らない人もいる 	
子育て支援事業の周知について	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンアプリや子育てガイドブックの電子版で、気軽に情報を見たい ・スマートフォンアプリで各事業の具体的な利用方法などがわかると良い 	 
ちとせ子育て特典カードについて	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の全世帯に行き渡るよう、配布方法を見直した方が良い ・継続して利用できるような特典があると利用者が増えると思う 	
こども食堂について	<ul style="list-style-type: none"> ・より気軽に利用できるようなプロモーションが図られると良い ・料金が安く、食育にもなるので、自分の子どもにも勧めたい 	

すでに実施した施策	今後に向けた提言	次期計画の策定に向けた提言
	<p>【妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援】</p> <p>子育てコンシェルジュ・ちとせ版ネウボラが、より気軽により身近に活用できる環境づくりの強化（H31年度）</p>	
<p>【千歳市子育てガイド新版発行事業（H30.3）】</p> <p>長く利用してもらえるように、表紙に「保存版」と表示</p> <p>各種支援事業の中から、子育てママ応援会議が選定した5つの事業をランキングで掲載し、オススメ情報をわかりやすく</p> <p>転入者向けの情報を集めたページを追加冊子を電子書籍化しスマートフォン等で閲覧しやすく</p>	<p>【情報発信の強化、事業の普及促進】</p> <p>インターネット媒体を活用した市民目線での情報発信（市提案型協働事業として公募審査中・H31年度～）</p> <p>こども食堂の運営に対する支援方法の検討</p> <p>ちとせ子育て特典カードの普及促進・PR強化</p>	
<p>【子育て支援事業の利用促進事業】</p> <p>子育て支援イベント（転入親子ウエルカム交流ツアー）の開催に当たり、インターネットによる参加申込を導入（H30.6）</p>		
<p>【ちとせ子育て特典カード事業】</p> <p>配布方法を見直し、転入してきた全ての対象世帯に、転入手続きの際に配布（H29.12～）</p> <p>カードと共にポケットサイズの協賛事業所一覧を配布し、より使いやすく（H30.3～）</p>		

(2) 子どもの居場所に関すること

区分	主な意見 P1～2の再掲
保育士の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士資格をもちながら保育士としての就労を希望しない方が多くいる ・ 短時間勤務のベテラン先生を採用するよう間口を広げたら、円滑に回ると思う ・ 潜在保育士は、給与の引上げ、業務量の軽減、休みの取りやすさの改善などを望んでいる ・ 保育士等人材バンクの登録をちとせっこセンターなどでもできたら、気軽に登録できそう
未就学児の保育について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料の経済的負担が重い ・ 年度途中で転入しても希望する保育所等に入れるように、保育定員を拡大してもらいたい
児童館・学童クラブについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や認定こども園と、児童館・学童クラブが連携して子どもを見守っていけたら、子どもも親も安心 ・ 認定こども園と児童館が併設した施設ができるのは良いことだと思う
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生以降も利用しやすいよう学童クラブの定員拡大を
中学生以降の居場所について	中学生には、友達同士でリラックスできる場所や時間が必要



(委嘱状交付式)



(第1回会議)

すでに実施した施策	今後に向けた提言	次期計画の策定に向けた提言
<p>【保育士の確保事業】</p> <p>保育士等人材バンクの登録受付を市役所のほかにちとせっこセンター、げんきっこセンターでも行い、より身近に（H30.4～）</p> <p>保育士確保のための庁内検討チームを編成（H30.5～）</p> <p>保育士募集チラシを全ての転入世帯に配布（H30.6～）</p>		
<p>【保育定員拡大事業】</p> <p>保育定員のさらなる拡大（H30年度107人拡大）</p>	<p>【保育の受け皿確保】</p> <p>保育定員のさらなる拡大（H31年度109人拡大予定）</p>	
<p>児童館を併設した認定こども園を整備（H31年度開設予定）</p>		
	<p>（再掲）</p> <p>・こども食堂の運営に対する支援方法の検討</p>	



（第2回会議）



（託児の様子）

(3) 男性の育児参画やワーク・ライフ・バランスに関すること

区分	主な意見 P1～2の再掲
男性の育児参画について	<ul style="list-style-type: none"> ・第2子以降をもつには、父親の協力が得られるかが大事 ・中高生のうちに赤ちゃんに触れ合う機会があると、特に男性にとっては良い意識づけになる ・育児への参画の仕方は家庭の状況によって異なるので、支援する側は配慮する必要がある ・企業の中でワーク・ライフ・バランスや子育ての講座ができれば男性も参加しやすい
ワーク・ライフ・バランスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事も子育ても手を抜きたくない。第2子以降をもつには、事業者の意識改革が必要 ・イクボスの推進には、組織のトップから下へ浸透させていくことが大切 ・男性の育児休業取得を企業のイメージアップ策に留めず、本当に休める環境づくりを ・男性が育休をとれるよう、企業等の意識改革を市からも後押ししてもらいたい
経済的負担の緩和について	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成を受けられる期間がもっと長くなれば、医療機関にかかりやすくなる
	<ul style="list-style-type: none"> ・第2子以降の出産に手当がつくなど、金銭的なインセンティブがあると効果的



(第3回会議)



(第4回会議)

すでに実施した施策	今後に向けた提言	次期計画の策定に向けた提言
<p>【子育てと仕事の両立支援事業】 父親の子育て応援セミナーの開催 企業向けイクボスセミナーの開催</p>		
<p>子どもの医療費助成を拡充（H30.8）</p>		



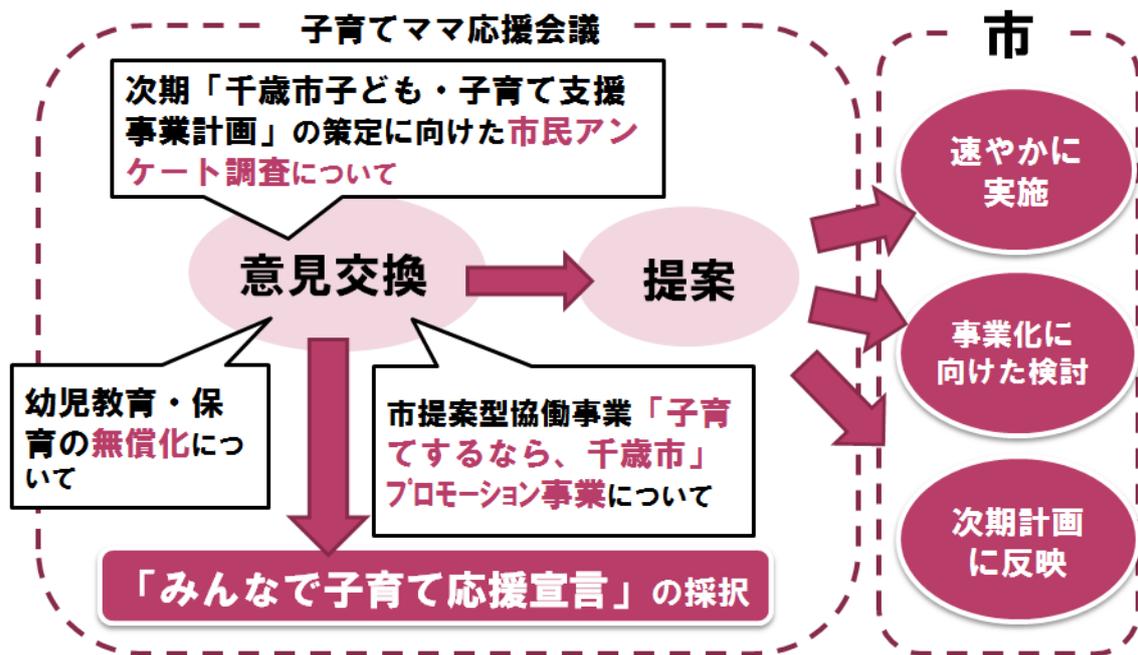
（第5回会議）



（第6回会議）

4 今後の活動

今後開催する会議では、次期「千歳市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた市民アンケート調査や、幼児教育・保育の無償化、市提案型協働事業「子育てするなら、千歳市」プロモーション事業などについての意見交換を予定しています。その中から、速やかに実施する施策や、事業化に向けた検討、次期計画への反映につなげていく他、最終報告と併せて「みんなで子育て応援宣言」の採択を目指します。



活動スケジュール（予定）

平成 29 年度				平成 30 年度				平成 31 年度	
会議発足	①切れ目のない支援 ②男性の育児参画	①乳幼児期の保育 ②保育士の確保	①子どもの居場所づくり ②地域や企業に望むこと	①中間報告(案)	①中間報告について	②アンケート調査について	子ども・子育て会議への中間報告 市長への中間報告	・各種事業に係る意見交換 ・次期計画策定に向けた施策提案等	最終報告(活動終了)
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回		最終回
10月	11月	1月	3月	7月	8月	9月	10月以降		10月頃